

解体業者の皆さまへのお願い

輸入車の 機械式シートベルトプリテンショナーについて

輸入車の機械式シートベルトプリテンショナーは、
取り扱いに注意してください!!



注 意!

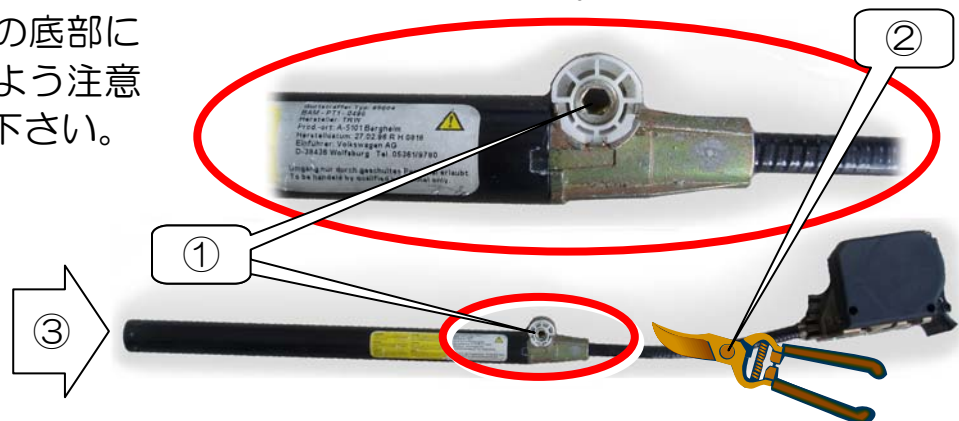
- 一部の輸入車の機械式シートベルトプリテンショナーの安全装置は車台から取り外す時に自動的に働きます。
- 安全装置が働いていても、1m程度の高さから落下させるのと同程度の衝撃で作動するように設計されているものがありますので、落としたり叩いたりしないよう取扱いにご注意下さい。

※ 機械式シートベルトプリテンショナーが装備されているかどうかは、車台詳細情報画面等で確認することができます。

輸入車には下記のようなタイプの機械式シートベルトプリテンショナーがあります。

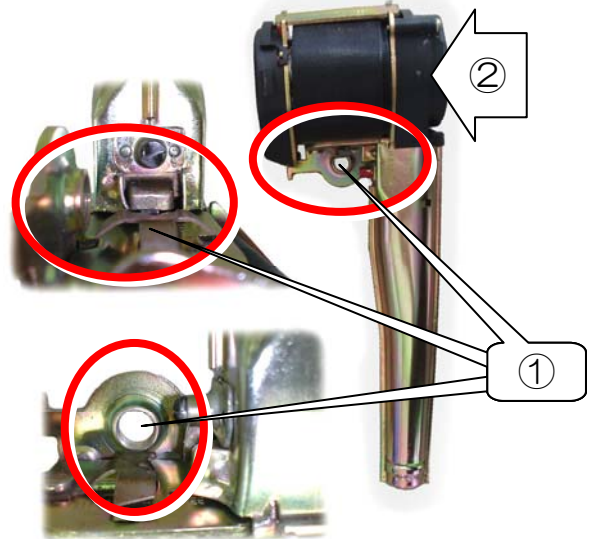
タイプ Y1 (フォルクスワーゲン)

- ① 車台取付け用スクリーナットを外すと、自動的に安全装置が働きます。
※ 外したナットには決してボルト等を取り付けしないでください!
- ② 棒状のテンショナー部から 10cm 以下の位置でケーブルを切断し、ケーブルを覆っているカバーを抜き取ります (ケーブルカバーは容易に抜ける可能性があることから、持ち運びの際はケーブルを持たないでください)。
- ③ テンショナー部の底部に衝撃を与えないよう注意して引き渡して下さい。



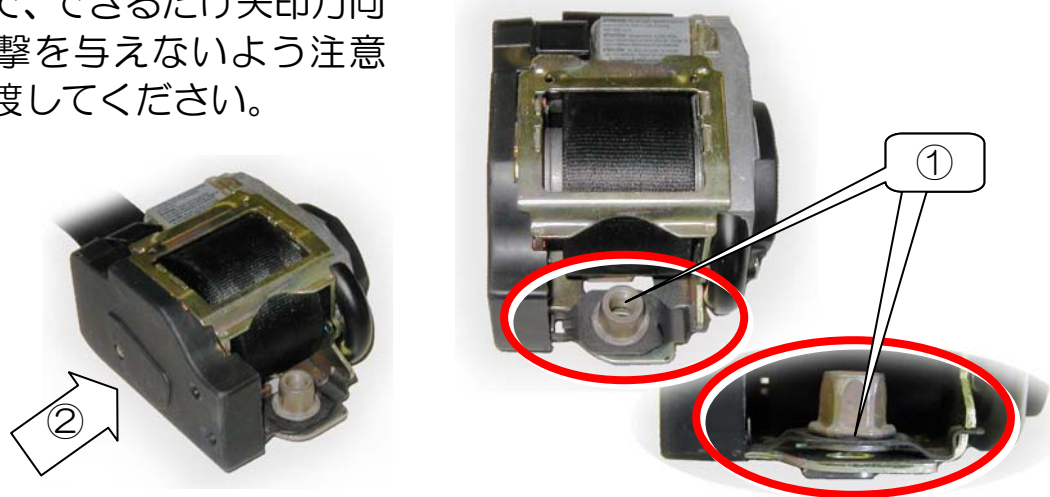
タイプ Y2 (フォルクスワーゲン)

- ① 車台に取り付けてあるナットを外すと、自動的に安全装置が働きます。
※ 外したボルトは決してプリテンショナーに取り付けしないでください!
- ② この状態で、できるだけ矢印方向からの衝撃を与えないよう注意して引き渡してください。



タイプ Y3 (フォルクスワーゲン)

- ① 車台に取り付けてあるボルトを外すと、自動的に安全装置が働きます。
※ 外したボルトは決してプリテンショナーに取り付けしないでください!
- ② この状態で、できるだけ矢印方向からの衝撃を与えないよう注意して引き渡してください。



※ フォルクスワーゲンの機械式シートベルトプリテンショナーは構造上の理由から車上作動処理が認められておりませんので、必ず取外回収してください。

取扱いの詳細は、自動車メーカー等の適正処理情報を参照してください。

この内容は自動車再資源化協力機構ホームページ (<http://www.iarp.org>) でご案内させていただくとともに、その他の装備されている車種・型式等の追加情報についても逐次ホームページ上でご紹介させていただきます。